

牧山コミュニティだより

平成30（2018）年1月 第2号

発行：牧山地区コミュニティ協議会

牧山クラインガルテン

21回目の収穫祭

裏方パワーで
大盛況

11月26日（日）、郷地区内で牧山クラインガルテン収穫祭が開催されました。当日は曇り空でしたが、たくさん的人が訪れ、青空市、屋台、子供に人気の凧作りなどの各種催し物等、大盛況でした。



味わって、見て、聴いて、楽しいなあ～

来場者の方に話を伺うと、「餅投げが楽しみ」とか「青空市で野菜を買っている」といった言葉が返っていました。なかには、農園を借りていて収穫祭のことを知り、「毎回楽しみに孫と来ている」という人や収穫祭に遊びに来たのが縁で農園を借りて野菜づくりを始めたという人もいました。

また、牧山の風景が気に入り、大阪から農園作業に来ている人もいるそうです。

これらは、地元住民と他地域の方との顔の見える関係づくりであると共に、牧山の風景が懐かしい原風景に近いということなのでしょう。

裏方さん達曰く、
「私たちも、楽しんで作業をしていますよ！」

まさに、縁の下の力持ち

この収穫祭を支えている裏方さん達にスポットを当ててみました。

裏方の仕事としては事前打ち合わせ会議はもちろんのこと広場周りの樹木の剪定に始まり、テント設営、餅やカレーなどの食べ物の下準備等々。

来場者の方には見えない所での仕事がたくさんあります。

この裏方で頑張る人たちの努力があってこそ収穫祭なのです。

そこで、年に一度のこの行事を増え盛り立てていくためには、広く地域全体の住民の協力が必要となります。

私たちも何か一つ自分ができることを手伝っていきませんか。

「地域おこし協力隊」

都市圏から地方に移住して活性化に取り組む若者を自治体が「協力隊員」として委嘱する制度があります。

牧山でも様々な課題があり、コミュニティ協議会とNPO法人牧景園、下牧農援隊の三者で岡山市と協議を進めてきましたが、昨年12月「協力隊」の募集が始まりました。

募集始まる！

人数は2名程。活動内容はブドウ栽培の支援をメインに、クラインガルテンや農援隊、地区美化活動の支援などを想定しています。

インターネットや市の東京事務所等を通じて募集しています。お知り合いへのPRなど皆さんのご協力をお願いします。

